

キャラクター名 ジョン・ドウ	プレイヤー名
-------------------	--------

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	射手	性別	男	年齢	26
冒険者Lv	6	経歴			
経験点	1410				

能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
器用度	7	2		18	3	シューター	6		
敏捷度	10			19	3	マジテック	1		
筋力	11	3		19 + 1	3	スカウト	5		
生命力	12	1		18	3	エンハンサー	2		
知力	6	4		17 + 1	3	アルケミスト	1		
精神力	12			19	3				

戦闘特技	値	備考
トレジャーハント	2120p	p
ターゲットィング	1-280p	p
鷹の目	1-280p	p
武器習熟A/ボウ	1-281p	p
	p	p
	p	p
	p	p
	p	p
	p	p
	p	p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	備考
キャッツアイ	
マッスルベアー	
クリティカルレイ	

名誉アイテム	点数
名誉点 所持 202 /合計 202	

技能	基本レベル	基本命中力	基本回避力	基本ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	6	9	9	9

鎧と盾	必要ランク	筋力	回避力	防護点
鎧		13		4
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能		合計値	0	4

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ファストボウ 射程30m	2H	20		2d+ 9	10	10	35										
				2d+													
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
アビスシャードx3	○□□○□□
冒険者セット	○□□○□□
スカウト用ツール	○□□○□□
金Aカードx7	○□□○□□
閃牙の矢x7	○□□○□□
粘着液の矢x3	○□□○□□

念動の矢x3	○□□○□□
矢(12本)x3	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
所持金 5085	預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	19 m	57 m	2d+ 0	4	36

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 8	2d+ 9	2d+ 9	22

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
魔動機術	1	4			

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	
背中	補充の矢筒 12本収納 MP3消費で自動補充 閃10ス1粘1
右手	剛力の指輪
腰	アルケミーキット
足	マギスフィア(小)
その他	

装備品	説明
左手	知力の指輪

その他メモ  
 秘密結社【バベル】に所属している中堅冒険者。【バベル】はアルフレーム大陸全土に活動拠点があるとされる謎多き組織でありその目的、理念、主要な構成員など一切不明である。ジョンも理解していない。というある日届いた手紙に従って依頼をこなしていたらいつの間にか組織の一員として扱われていた。なんかやばいことに首を突っ込んでいる気がしなくもないが、定期的に届く手紙に指示された依頼はどれも実入りのいいものばかりだから別にいいかとも思っている。前に受けた依頼が公園の清掃、その前が年寄りの買物の手伝い、更に一つ前がとある家に潜入して家中の靴下をひっくり返すことだった。組織が何の目的でそんなことを俺にさせるのか全く分からないが血も汗も流れず金を稼げるのだからいいことづくめだ。  
 今日もまた例の手紙が届いた。書き出しはいつだってこうだ「やあ!元気かなジョン?仕事だよ」馴れ馴れしい距離感にももう慣れた。今回の本題は?「マカジャットに行け」ただそれだけ。一文。それ以上はなし。・・・OK、とりあえず毎回多り出して本文を書くのをやめてくれ。

自動失敗  
チェック  
□□□⑤  
□□□⑩  
□□□⑱  
□□□⑳  
□□□㉑  
□□□㉒  
□□□㉓